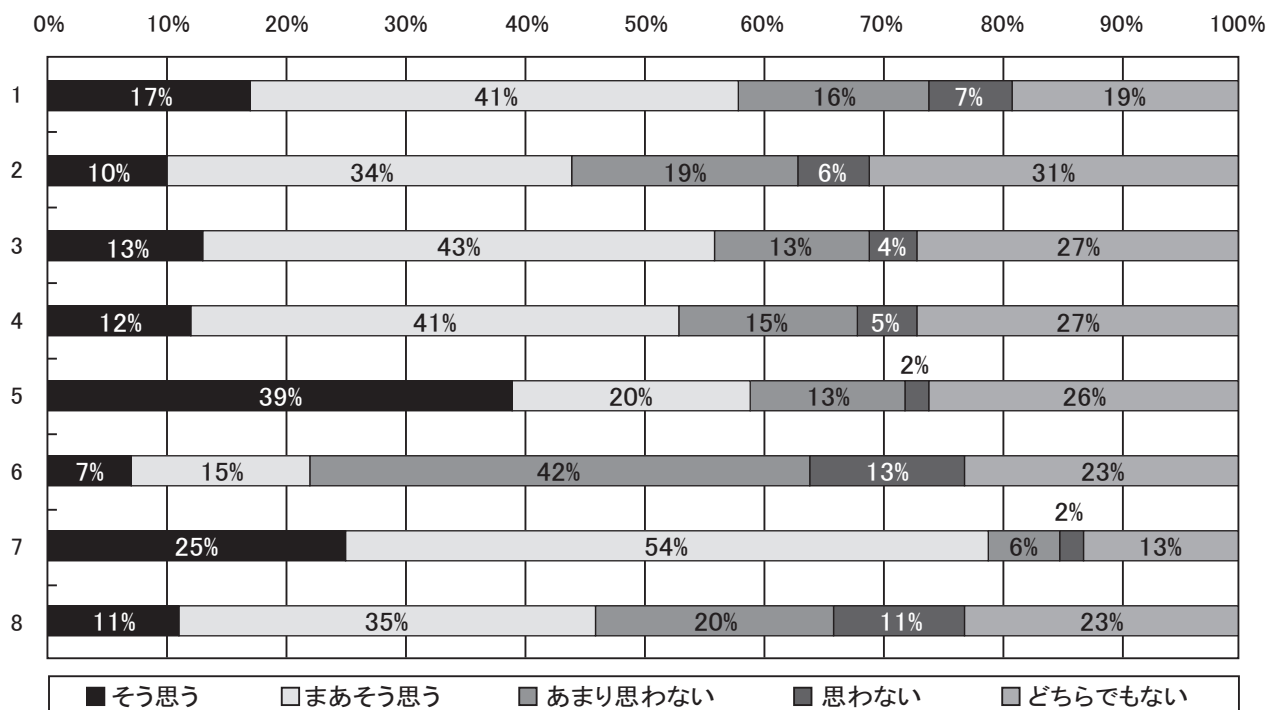


【都立特別支援学校の教員からの回答】

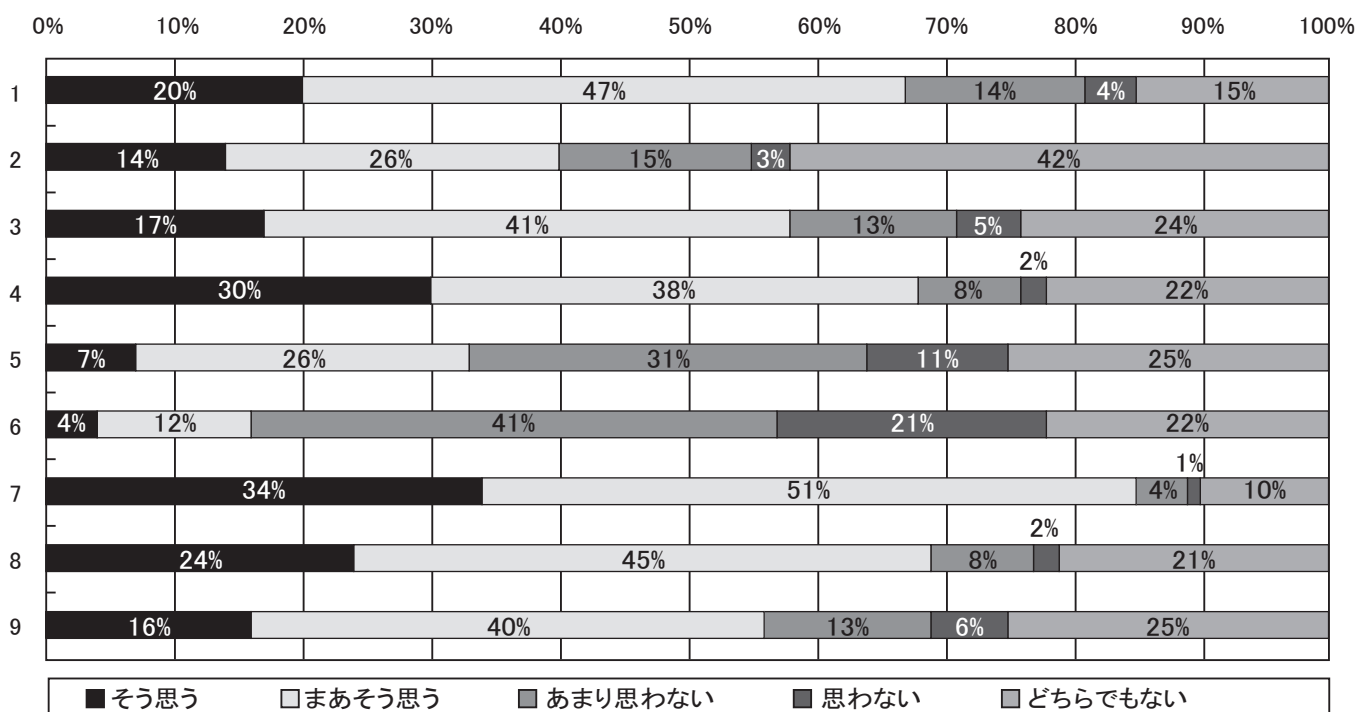
1	副籍制度に基づく交流の充実に向けて、地域指定校への積極的な働きかけに努めてきた。
2	交流の継続により、担任する児童・生徒の成長を感じる。
3	交流の継続により、地域指定校の児童・生徒の理解が進んだと感じる。
4	交流の継続により、地域指定校の教員の理解が進んだと感じる。
5	地域指定校によって、副籍制度に対する「温度差」を感じることもある。
6	副籍制度に対する保護者の期待は理解できるが、要望が過大であると感じることがある。
7	副籍制度は、共生社会の形成に向けて意義がある。
8	「今後、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。



- ① 58%の教員が、地域指定校への積極的な働きかけに努めた。
- ② 44%の教員が、児童・生徒の成長を感じている。
- ③ 56%の教員が、地域指定校の児童・生徒の理解が進んだと感じている。
- ④ 53%の教員が、地域指定校の教員の理解が進んだと感じている。
- ⑤ 59%の教員が、地域指定校の副籍制度に関する「温度差」を感じている。
- ⑥ 22%の教員が、保護者の要望が過大と感じることがあると答えている。
- ⑦ 79%の教員が、副籍制度が共生社会の形成に意義があると考えている。
- ⑧ 46%の教員が、原則として全員が副籍をもち、交流を進めた方が良いと考えている。

【地域指定校（小・中学校）の教員からの回答】

No.	設 問
1	特別支援学校と連携を図るなどして、副籍制度に基づく交流内容の充実に努めてきた。
2	交流の継続により、特別支援学校の児童・生徒の成長を感じる。
3	交流の継続により、担任する学級の児童・生徒の障害のある児童・生徒への理解が深まった。
4	交流の継続により、自分自身の障害のある児童・生徒への理解が深まった。
5	副籍制度の意義や実施内容について、学級の保護者への理解啓発に努めてきた。
6	副籍制度に対する特別支援学校の保護者の期待は理解できるが、要望が過大であると感じることがある。
7	副籍制度は、共生社会の形成に向けて意義がある。
8	副籍制度の充実に向けては、小・中学校の主体的な取組が大切である。
9	「今後、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。



- ① 67%の教員が、特別支援学校への働きかけに努めてきた。
- ② 40%の教員が、特別支援学校の児童・生徒の成長を感じている。
- ③ 58%の教員が、学級の児童・生徒の理解が進んだと感じている。
- ④ 69%の教員が、自分自身の障害に対する理解が進んだと感じている。
- ⑤ 33%の教員が、学級の保護者に対する理解・啓発について努めてきた。
- ⑥ 16%の教員が、保護者の要望が過大だと感じている。
- ⑦ 85%の教員が、副籍制度が共生社会の形成に意義があると考えている。
- ⑧ 69%の教員が、小中学校の主体的な取り組みが必要であると考えている。
- ⑨ 56%の教員が、原則として全員が副籍をもつことが良いと考えている。

アンケートの自由記述から（一例）

特別支援学校の保護者より（1）

★ 72%の保護者が、直接交流の内容に満足している。

- 保護者として、交流先の学校の先生や児童・生徒たちが障害者と関わること、交流は低学年のうちから始め、続けていくことが大事だと思い、実践してきた。それなりに地域とのつながりができたと思っている。
- 児童・生徒の社会性を広げる一つの大きな経験になっていると、2年目・3年目を経験して実感した。
- 地域指定校のPTA会長さんや、同じマンションのPTA役員をされている保護者の方が、「行事にいつも来てくれてありがとう」と言ってくれる。
- 校舎内での車いすの上げ下ろしの手伝いを率先してやってくれる生徒がいた。車いすを押してくれたり、給食を運んでくれたり、自ら積極的に手伝ってくれた。
- 障害児のためだけの制度ではなく、地域全体のための制度で、障害児が社会貢献をしているという認識が定着するといいなと思う。
- 地域指定校の児童・生徒が特別支援学校に来ることもできるのではないかな。

特別支援学校の保護者より（2）

★ 59%の保護者が、間接交流の内容に満足している。

- 副籍制度自体は意義があり、特に特別支援学級のない地域指定校の児童・保護者には、とても重要な啓発になると考える。地域の顔見知りが増えることは、災害時にも重要である。
- 交流が当然のこととなるまでには時間がかかると思う。我が家の場合、この5年間の成果はお互いに確実にあると思う。必要を感じるから続けている。
- より良い社会を築くには、親の意識を変えていく必要がある。
- お便りを持って行く交流だけであるが、部活動中の生徒さんが「こんにちは」と声を掛けてくれることが嬉しい。
- 自宅にお便りを届けてくれたただけだが、玄関先で握手を交わしたりするなど、お互いに仲良く向き合うことができた。
- 全員参加の副籍制度にして欲しい。親の判断に任せられるのは重荷である。原則として、全員が副籍をもつほうが希望する人が交流しやすいと思う。
- 間接交流を行っているが、小学校の副校長先生から、音楽会のお誘いの電話を直接もらい、とても嬉しかった。